令和５年２月１３日

 **令和４年度　第３３回　八王子近郊オープン高校卓球大会の報告**

**『 １年生の 小林 元、２４０名参加の大会で第５位（ベスト８） 』**

２月１２日（日）にエスフォルタアリーナ八王子で３年ぶりに八王子近郊オープン高校大会が行われました。この大会はオープン大会なので東京都の学校だけではなく、神奈川県や埼玉県の学校も参加していました。

野津田高校卓球同好会は３学期に入っても多くの学校に練習試合に行かせてもらい、今大会でも持てる力を発揮してくれました。

男子シングルス１回戦に出場した嶋田は１セット目を失ったものの２セット目からフォアハンド攻撃がよく決まり２対２のセットオール。５セット目は挽回したものの力及ばずに初戦敗退でした。対戦相手の錦城高校の選手は今大会で３位に入った強豪選手でしたので、よくがんばったことと思います。

２回戦から出場した小林は初戦で川崎市立橘の選手に対して苦しんだものの３対１で勝利。３回戦は狭山経済の選手に３対０、４回戦は明星の選手に３対０で勝ちベスト１６進出。５回戦は東大和の選手に対してサーブからのスマッシュがよく決まり３対１で勝利。ベスト８進出を決め、２４０名参加の大会で見事入賞を果たしました。準々決勝では今大会で優勝した川崎市立橘の３年生の選手に１対３で敗れてしまいましたが、１年生ながら大健闘でした。

「蒔いた種の通りに花が咲く」という中村天風さんの言葉がありますが、チューリップの種を蒔いて、ひまわりの花は咲きません。それと同じように私たちの人生には蒔いた種に合わせた実が生まれる原因、結果（因果）の法則があります。今が良いものであれば良い種を蒔いた結果であり、良くないものであれば良くない種を蒔いた結果なのです。何も努力しなくて良い結果だけを望んでも良い結果はでません。また、良いことを行えばいつかは良い結果が出ます。悪いことを行えばいつかは悪い結果が出ます。決して他人や環境や運命のせいではありません。自分で蒔いた種が花を咲かせているのです。「良い種」を蒔けばきっと良い実がなり花が咲きます。さらに良い種を蒔き、４月から始まる東京都高等学校春季卓球大会（関東高等学校卓球大会予選）に向けて鍛えますので、今後ともよろしくお願いいたします。